

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

倉敷芸術科学大（倉敷市）の学生が、災害時の個別避難計画「要配慮者版マイ・タイムライン」の必要性を訴える漫画を作っています。記事をよく読み、質問に答えましょう。

制作した漫画の一場面



漫画（18ページ）は、西日本豪雨による浸水で要配慮者を中心に51人（関連死除く）が亡くなった真備町地区が舞台。豪雨時、脚が不自を題材にした。由で他人に迷惑を掛けたくないという自覚をモデルにした高年齢女性の孫が主垂直避難した片岡合さん（78）の体験に現れた成長した孫

**西日本豪雨 3年**

## 真備の高齢女性取材基に倉敷芸科大生

災害時に自力避難が難しい高齢者や障害者ら要配慮者の個別避難計画「要配慮者版マイ・タイムライン」の必要性を伝える漫画を、倉敷芸術科学大（倉敷市連島町西之浦）の学生が制作している。災

## 要配慮者版マイ・タイムライン

# 漫画で必要性訴え

避難に勇気がいる人もいる  
声を掛けるなど支え合おう



が、小学3年だった当時の自分に同タイムラインの意義を伝え、周囲を説得して計画を作成。計画を基に豪雨時に祖母と一緒に避難する。



「要配慮者版マイ・タイムライン」の大切さを伝える漫画を制作する倉敷芸術科学大の中務さん（左）と松田講師

**幅広い年代へ浸透目指す**  
担当。片岡さんへの取材を基に、元教師で責任感が強く、率先して逃げられなかったという片岡さんの心情を丹念に描写。当事者や家族、民生委員、地域住民らが集まって協議するなど、人と人がつながりながら計画を作る

松田講師は「幅広い層に親しんでもらえるようSF仕立てで、コミカルな要素も加え」と話し、中務さんは「さまざまな理由で高齢者や障害者の避難には勇気がいることが

4日付、山陽新聞日曜ワイド

Q1 ★★★★★

この漫画は、災害時に自力での避難が難しい高齢者や障害者ら（要配慮者）の個別避難計画を取り上げています。漫画の題材になったのは、西日本豪雨の時の誰のどのような体験ですか。第2段落から書き出しましょう。

Q2 ★★★★★

漫画の中で伝えている「要配慮者版マイ・タイムライン」を作るときの大切なポイントは何ですか。第4段落が参考になります。

Q3 ★★★★★

マイ・タイムラインの作り方は国土交通省のホームページなどに載っています。調べてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。